

市民文化部

市民相談	- 1
消費生活行政及び計量行政	- 2
市民活動	- 4
住民組織	- 6
地区市民センター	- 7
文化振興	- 13
生涯学習	- 15
文化会館	- 16
泗翠庵	- 17
都市提携	- 18
多文化共生	- 20
男女共同参画	- 21
戸籍・住民記録	- 23
住居表示整備事業	- 24
四日市地域総合会館あさけプラザ	- 25
楠総合支所	- 28
(財)四日市市まちづくり振興事業団	- 31

市民相談

市民相談は、市民の市政に対する相談をはじめ、日常生活で起こる各種の問題の相談に応じ、市民と行政のコミュニケーションのパイプとしての役目を果たすことを目的としている。平成 22 年度は年間 4,588 件の相談を受けた。特に、多重債務問題については、全庁的に取り組むための組織として、多重債務問題連絡調整会議を立ち上げた。

また、毎月定期的に特別相談(弁護士相談、司法書士相談、行政書士相談、社会保険労務士相談)を実施した。それ以外にも、各機関の協力を得て、公証人による公証相談、行政相談委員による行政相談を実施した。

市政に関する相談(市民相談分)

(平成 22 年度)

部 局	件 数	主 な 内 容
危機管理監	7	防災
政策推進部	1	政策
総務部	26	行政
財政経営部	62	税務
市民文化部	1,050	戸籍、住民登録、自治会、特別相談等
福祉部	176	介護、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、生活保護等
健康部	133	年金、国民健康保険、心の健康相談等保健所事業
商工農水部	17	商業一般、農林、水産、畜産
環境部	66	悪臭、騒音、清掃、予防衛生等
都市整備部	105	開発許可、道路維持補修、河川、公園、建築
市立病院	12	病院業務一般
市議会	3	議会業務一般
教育委員会	17	学校教育、青少年対策
上下水道局	8	上水道、下水道
消防本部	3	消防業務一般
その他	2	その他業務
合 計	1,688	

市政以外の相談

内 容	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
国の所管に関するもの	117	170	234	209	209
県の所管に関するもの	46	76	15	29	14
民事の要素を有するもの	1,536	1,466	1,828	1,704	1,455
家事の要素を有するもの	1,014	1,155	1,316	1,325	1,222
合 計	2,713	2,867	3,393	3,267	2,900

特別市民相談

種 別	件 数	主 な 内 容
弁 護 士 相 談	299	家事、民事、その他の法律的な問題についての弁護士による相談
司 法 書 士 相 談	293	多重債務、金銭貸借、登記、相続などの司法書士による相談
行 政 書 士 相 談	30	許認可、遺言・相続・契約書面作成、後見などの行政書士による相談
社会保険労務士相談	30	年金、社会保険、労働問題などの社会保険労務士による相談
公 証 相 談	27	相続、遺言、各種契約などの公証人による相談
行 政 相 談	1	行政の仕事についての苦情や困りごとの相談
合 計	680	

消費生活行政及び計量行政

消費生活行政

昭和 47 年 6 月に「四日市市消費者センター」を開設し、市民からの消費生活に関する相談等を迅速に処理するとともに生活情報を提供してきた。平成 17 年度から市民の相談ニーズに合致した対応ができるよう消費生活相談と市民相談を統合した。平成 22 年度の消費生活相談の件数は 1,376 件（前年度比 31 件減）であった。

相談内容では、一般の店舗販売に関する相談が最も多くなっているが、それに次いで、通信販売に関する相談が多くなっている。また、ハガキやパソコン・携帯電話等による架空請求・不当請求の相談は年々減少しているが、依然として 161 件の相談があった。

年代別では、相談件数が減少する中、70 歳以上の高齢者の相談件数の増加が目立っており、60 歳代の相談件数と合わせると全体の約 38%を占めている。

相談窓口を設置する一方、「消費生活出前講座」や「消費生活ワンポイント講座」を平成 22 年度は計 15 回開催するなど消費者被害の未然防止に努めている。また、親と子どもを対象とした「金融教育フェスティバル」を三重県金融広報委員会と共催した。それ以外にも、『広報よっかいち』に特集記事「消費生活でのトラブル」や「消費生活トラブル情報」を掲載したほか、四日市消費者協会に委託して『みんなの消費生活展』や『消費者講座』を開催するなど、消費者への啓発を行った。

年度別消費者センター相談件数

			18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
相談件数 合計			2,349	2,149	1,653	1,407	1,376	
方法	文書相談		0	1	1	0	0	
	来所相談		404	322	251	229	244	
	電話相談		1,945	1,826	1,402	1,178	1,132	
種別	苦情	一般	店舗	269	374	357	398	399
		特殊販売	訪問販売	229	203	145	131	116
			通信販売	1,230	885	633	388	354
			マルチ商法	39	27	26	23	12
			電話	131	104	91	85	123
			ｶﾞﾃﾞｲﾌﾞ ﾀﾌﾞｼﾞｮﾝ	30	2	2	3	4
			その他	16	21	18	10	4
			不明	239	211	88	110	145
		計	1,914	1,453	1,003	750	758	
	苦情 合計		2,183	1,827	1,360	1,148	1,157	
	問い合わせ	一般	店舗	24	15	22	13	7
		特殊販売	訪問販売	3	8	4	4	0
			通信販売	9	8	5	1	2
			マルチ商法	1	3	0	0	0
			電話	1	2	3	0	0
ｶﾞﾃﾞｲﾌﾞ ﾀﾌﾞｼﾞｮﾝ			0	0	0	0	0	
その他			0	0	0	0	0	
不明			128	286	259	241	210	
計		142	307	271	246	212		
問い合わせ 合計		166	322	293	259	219		
談者 (性別) (相談相)	男		938	762	602	577	565	
	女		1,365	1,313	979	773	747	
	団体		46	74	72	58	64	
者 (地域別) (相談)	市内		2,314	2,118	1,628	1,388	1,325	
	市外		35	31	25	19	51	
	不明		0	0	0	0	0	

計量行政

昭和40年4月に計量法による特定市の指定を受け、計量器の定期検査・立入検査・量目検査等を実施している。平成22年度には、588戸の検査戸数（検査台数1,472台）があり、そのうち民間計量士による代検査は、323戸の検査戸数（検査台数1,072台）にのぼっている。

また、事業者に対し、適正な計量の実施を確保すべく監視指導を徹底するとともに、消費者保護の立場から一般消費者参加の試買量目調査を実施し、消費者に計量に対する認識を高めてもらうことにより、計量思想の普及啓発に努めている。

市民活動

「市民活動」の活性化に努め、市民が主役のまちづくりを推進していく。

個性あるまちづくり支援事業

市民による先駆的で夢のある自主的な公益活動を支援するため、平成 16 年度に創設した制度。
(平成 23 年度)

枠 別	種 別	助成限度額	補 助 率	応募団体数	採択団体数
一般枠	立ち上げ期	10 万円	10 / 10	8 団体	7 団体
	中級編	75 万円	50 万円以下 9 / 10 50 万円超 2 / 3	17 団体	17 団体
	上級編	30 万円	3 / 5	8 団体	8 団体
NPO 法人枠	中級編	75 万円	50 万円以下 9 / 10 50 万円超 2 / 3	6 団体	6 団体
	上級編	30 万円	3 / 5	1 団体	1 団体
防犯活動枠	立ち上げ期	10 万円	10 / 10	6 団体	6 団体
	中級編	75 万円	50 万円以下 9 / 10 50 万円超 2 / 3	6 団体	6 団体
	上級編	30 万円	3 / 5	4 団体	4 団体
計				56 団体	55 団体

【採択した事業の主な内容】 () 内は団体数

生活環境(4)、自然環境(6)、歴史文化(5)、伝統行事(2)、福祉・子育て・健康づくり(13)、まちづくり(6)、防犯・子ども見守り(16)、その他(3)

*なお、平成 16 年度事業に応募のあった自主防犯活動団体により、団体間の情報交換ネットワークとして「四日市市地域防犯協議会」を組織し、継続的に隔月で実践的な協議を行っている。

市民活動ファンド

公益にかかわる活動を行う市民活動団体を支援し、本市の市民活動をより活発にすることを目的として、平成 12 年に設立された。平成 20 年度から、他に支援制度等がないものの公益的な市民活動として社会貢献が認められるような活動に対して助成している。

(平成 23 年度)

補助額	補助率	応募団体	採択団体
75 万円限度	50 万円以下 9 / 10 50 万円超 2 / 3	2 団体	2 団体

【採択した事業の主な内容】 () 内は団体数

福祉 (2)

なやプラザ

旧納屋小学校を改修した施設であるなや学習センターと市民活動センターは、平成 18 年 4 月 1 日から、指定管理者制度の導入に伴い、「四日市市なやプラザ」として、市民活動団体による一体的な管理運営が行われている。これにより、利用者の利便性がさらに向上し、市民活動が活性化され、市民主体のまちづくりがより一層推進されることを狙っている。

1. なやプラザの概要

- (1)所在地 四日市市蔵町 4-17 (旧納屋小学校)
- (2)延床面積 1563.28 m²
- (3)休館日 12 月 29 日～1 月 3 日、毎月第 2 月曜日 (祝日にあたる場合はその翌日)
- (4)開館時間 午前 9 時～午後 10 時

利用者数

(単位：人)

年 度	H18	H19	H20	H21	H22
なや学習センター	40,819	44,324	44,599	45,261	46,741
市民活動センター	8,094	8,225	8,244	7,085	4,706
合 計	48,913	52,549	52,843	52,346	51,447

住民組織

市は各地区連合自治会と広報連絡(各種広報文書の組回覧、各種啓発ポスターの掲示)等の事務について委託契約を結び、市政への協力を求めている。

自治会の組織(平成 23 年 4 月 1 日現在)

- ・町自治会数 708
- ・町自治会組数 7,719
- ・地区連合自治会数 28
- ・地区連合ブロック数 6(ブロック代表 各 1 名)
- ・自治会加入世帯数 101,542
- ・自治会加入率 83.9%

委託料

(平成 23 年度)

区 分	単 位	委託料(年額)
地 区 連 合 自 治 会 長	1 人	73,600 円
地区連合会自治会長調査研究費	1 人	10,000
町 自 治 会 長	1 人	55,600
町 数 割	1 町につき	2,080
世 帯 数 割	1 世帯につき	116
自治会長研修会費	1 人	2,000
ブ ロ ッ ク 調 整 会 議 費		582,400

連絡員制度

市長が委嘱した市連絡員(平成 23 年 4 月現在 403 名)は、週 1 回以上市役所、楠総合支所または各地区市民センターに登庁し、市から出される各種文書類の配布を行っている。

地区市民センター

住民の自主的な地域社会づくりを目指し、活発な地域活動を醸成するための施策として、昭和 53・54 年度に全市 22 地区(本庁管内を除く)のうち 9 地区を地区市民センターとして試行し、施設整備等を進めてきた。

このような背景のなか、広報広聴活動や社会教育活動を通じて地域社会づくりに対する市民意識の高揚や地域活動の助長に努めてきた結果、市民の間で次第にその気運が高まってきた。こうした状況に対応するため、昭和 55 年度から全地区(本庁管内を除く)を地区市民センターに移行させ、さらに昭和 56 年度には、本庁管内についても中部地区市民センターを発足させ、市民と行政が一体となった地域社会づくりを推進してきている。

地区市民センターの概要

従来の出張所と公民館を施設の、機能的に一体化し、住民と行政の接点、あるいは住民相互の出会いの場として地域社会づくりの拠点となるよう位置づけている。また、センターの業務は、地域振興業務 公民館業務 窓口業務の 3 つからなっており、地域行政を推進する拠点として地域課題の解決や各種講座など自主事業を実施している。

センターが発足して四半世紀が経過するなかで、センターを拠点とするグループ・サークル活動も盛んになり、各種団体の活動や団体相互が連携した地域ぐるみの活動も定着している。地域住民の発想による活動が地域づくりの原点であり、平成 15 年度から各地区市民センター内に団体事務局を設置し、「地域社会づくり総合事業費補助金」による財政面での支援を行っている。また、平成 16 年度から民間で培われたノウハウを活かしたまちづくりが行えるよう地域マネージャーの配置を開始した。平成 18 年度には全地区に配置が完了し、市民主体のまちづくりの推進に努めている。

地区市民センター施設状況

施設名 (TEL)	所在地	設置建設 年月日	構造	面積		概要
				敷地	建物延	
富洲原地区 市民センター 365-1136	富洲原町 31-46	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 56.10.20	RC造 2F	m ² 2,025.32	m ² 672.50	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
富田地区 市民センター 365-1141	富田一丁目 24-47	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 41. 3.31 増改築 S. 57. 3.31	RC造 2F	1,070.61	1,111.52	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
羽津地区 市民センター 331-4465	大宮町 13-12	設置 S. 54. 4. 1 建設 竣工 S. 54. 3.31	RC造 3F	1,120.89	667.23	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
常磐地区 市民センター 351-1751	城西町 8-11	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 57. 3.31 増改築 H. 4. 3.30	RC造 2F	2,637.54	772.32	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室

施設名 (TEL)	所在地	設置建設 年月日	構造	面積		概要
				敷地	建物延	
日永地区 市民センター 345-3197	日永西 三丁目 2-18	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 55. 3.31	RC造 2F	m ² 2,383.65	m ² 656.84	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
四郷地区 市民センター 321-2021	室山町 645 - 1	設置 S. 54. 4. 1 建設 竣工 S. 54. 3.31	RC造 2F	3,034.92	798.39	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
内部地区 市民センター 345-3951	采女町 857 - 1	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 47.11.6 増改築 S. 58. 3.31	RC造 2F	1,749.67	738.94	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
塩浜地区 市民センター 345-2403	塩浜本町 一丁目 1	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 58.10.14	RC造 2F	1,323.76	688.66	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
小山田地区 市民センター 328-1001	山田町 1373 - 3	設置 S. 53. 4. 1 建設 竣工 S. 55. 3.31	RC造 2F	7,486.34	537.19	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
川島地区 市民センター 321-3020	川島新町 1	設置 S. 54. 4. 1 建設 竣工 S. 61. 9. 3	RC造 2F	2,439.61	653.00	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
神前地区 市民センター 326-2751	高角町 2977	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 56. 3.31	RC造 2F	2,776.62	587.01	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
桜地区 市民センター 326-2051	桜町 1399	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 60. 9.11	RC造 2F	4,451.36	702.40	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
三重地区 市民センター 331-3276	東坂部町 71 - 2	設置 S. 53. 4. 1 建設 竣工 S. 49. 3.30 増改築 H元. 3.23	RC造 2F	3,087.90	834.55	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室、ホール
県地区 市民センター 326-0001	赤水町 957	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 59. 9. 3	RC造 2F	1,569.20	588.12	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室

施設名 (TEL)	所在地	設置建設 年月日	構造	面積		概要
				敷地	建物延	
八郷地区 市民センター 365-0259	千代田町 267 - 1	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 56. 3.31	RC造 2F	m ² 2,425.00	m ² 669.44	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
下野地区 市民センター 337-0001	朝明町 914 - 3	設置 S. 53. 4. 1 建設 竣工 S. 52. 2.14 増改築 H 4. 3.30	RC造 2F	1,616.86	631.19	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
大矢知地区 市民センター 364-8704	下さざらい 町 1-3	設置 S. 54. 4. 1 建設 竣工 S. 63. 2.12	RC造 2F	2,475.83	685.44	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
河原田地区 市民センター 345-5020	河原田町 159	設置 S. 53. 4. 1 建設 竣工 S. 51. 3.31 増改築 H 2. 3.31	RC造 2F	1,519.39	478.50	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
水沢地区 市民センター 329-2001	水沢町 2109 - 2	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 58.11.4	RC造 2F	1,634.20	569.69	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
保々地区 市民センター 339-0001	市場町 3039 - 5	設置 S. 54. 4. 1 建設 竣工 S. 53. 3.21 増築 H 6. 7.22	RC造 2F	2,015.65	647.67	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
海蔵地区 市民センター 331-3284	大字 東阿倉川 622 - 1	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 59. 6.5	RC造 2F	2,956.75	658.69	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
橋北地区 市民センター 331-3787	新浜町 14-11	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 54. 6.12	RC造 2F	1,381.59	567.81	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
中部地区 市民センター 354-0336	西浦一丁目 8-3	設置 S. 56. 4. 1 建設 竣工 S. 54. 3.31	RC造 4F	971.45	2,386.73	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室、音楽室 美術室、茶室

地区市民センターの事業

23地区市民センターにおいて、それぞれの地域の学習ニーズに対応した学級・講座の開催、並びに地域社会づくり事業活動への支援をおこなった。

平成22年度 地区市民センター事業別活動状況

分 野	回 数	延人数
家庭教育・子育て	158	4,636
人権・同和	18	702
福祉	51	3,922
趣味・生活技術	185	2,961
文化活動	27	1,178
スポーツ・レクリエーション	19	560
その他	35	700
合 計	493	14,659

平成22年度 地区市民センター施設利用状況

利 用 種 別	回 数	延人数
セ ン タ ー 事 業	696	21,653
サ ー ク ル 活 動	18,439	193,778
社会教育関係団体活動	3,785	80,699
四 日 市 市 関 係	1,757	51,296
そ の 他 団 体 活 動	5,147	97,192
合 計	29,824	444,618

地域社会づくり総合事業費補助金実施事業

富洲原	・夏まつり ・高齢者訪問事業 ・視察研修（人権）	・スポーツフェスタ ・駅伝大会 ・公園整備	・文化祭 ・子ども見守り	・一人暮らし高齢者年賀状配布 ・人権講演会
富田	・敬老会 ・夏まつり	・総合体育祭 ・納涼祭	・文化祭	・昼食懇談会
八郷	・まちづくり基本構想策定 ・花づくり講習会 ・バドミントン大会 ・懇談会	・ホームページ運用 ・ふれあいカレンダー作成 ・スポーツフェスタ ・クリーン作戦	・ふれあいフェスティバル ・体力測定大会 ・講習会（防犯） ・おとぎフェスタ	・やるぞ！こども会議 ・グラウンドゴルフ大会 ・防犯活動
下野	・敬老行事 ・水琴窟及び周辺庭園の維持管理 ・グラウンドゴルフ大会	・里山整備 ・ホームページ運用 ・運動会	・まちづくり研修（防災） ・ますつかみ大会 ・クリーン作戦	・ごみカレンダー作成 ・餅つき大会

大矢知	・ 体育祭 ・ 高齢者向け映画会 ・ 一人暮らし高齢者食事懇談会 ・ eco 研修会	・ 盆踊り ・ 防犯パトロール ・ 普通救命講習	・ 青少年デイキャンプ ・ ホームページ運営 ・ 球技大会	・ 文化祭 ・ 体力づくり事業 ・ 素麺まつり
保々	・ 里山保全活動 ・ 歴史ウォーク ・ 運動会	・ 自然観察会 ・ 歴史講演会 ・ グラウンドゴルフ大会	・ コウホネの移植、普及活動 ・ 補導員研修会	・ 文化祭 ・ 夏休み・年末パトロール
羽津	・ 運動会 ・ 花いっぱい運動 ・ 青少年ふれあい活動	・ ふれあいグラウンドゴルフ大会 ・ 交通安全対策 ・ ねたきり老人訪問事業	・ ソフトボール大会 ・ 防災訓練、講演会 ・ 空き缶拾いボランティア	・ 文化祭 ・ パトロール ・ 補導活動 ・ 子育て支援事業
海蔵	・ 花いっぱい運動 ・ 三世代交流ニュースポーツ大会 ・ 世代間交流会 ・ 敬老行事	・ 海蔵川堤防美化活動 ・ スポーツフェスタ ・ 福祉体験教室	・ 海蔵川、堀川水質チェック ・ 三世代交流グラウンドゴルフ大会 ・ 海蔵川ブイ点検・補修事業	・ 環境教育事業 ・ 運動会 ・ 地域防犯活動
橋北	・ 運動会 ・ 清掃事業 ・ クリスマス会	・ ふれあいまつり ・ 海蔵川環境整備活動 ・ 親子ふれあい体操教室	・ 文化祭 ・ 地域防犯活動	・ 花いっぱい運動 ・ 海蔵川救命ブイ補修
中部	・ 園児と高齢者のつどい ・ ふれあいひろば、運動会 ・ 地域健康づくり事業	・ 三世代交流グラウンドゴルフ ・ 人権同和研修 ・ ハイキング	・ 花いっぱい地域美化事業 ・ 地域ふれあい活性事業 ・ スポーツ振興事業	・ 防災研修 ・ 青少年育成活動 ・ 高齢者講座、女性セミナー
川島	・ 社会を明るくする運動大会 ・ 子ども安全確保（見守り・声かけ）	・ 川島紹介DVD作成 ・ 防災活動	・ 環境改善活動 ・ 夢ポスト設置	・ 鹿化川さくら祭り
神前	・ 里山整備 ・ 敬老会 ・ 住民交流運動	・ 記念植樹 ・ 健康施設維持管理 ・ まちづくり勉強会	・ 一斉清掃 ・ ウォークラリー	・ 地域整備 ・ 運動会
桜	・ スポーツフェスタ ・ サイクルトライアルセッション ・ 緑のふるさと事業 ・ 史跡めぐり ・ 盆踊り大会 ・ 秋祭り	・ グラウンドゴルフ大会 ・ 親子ふれあいデイキャンプ ・ 防災無線機配備 ・ バードウォッチング ・ 文化祭	・ あいさつ運動パトロール ・ こどもを守るいえ連絡会 ・ 防災フェスタ ・ 健康講座 ・ 夏まつり	・ 矢合川親子で生物調査 ・ 人権大会 ・ 講習会（防災） ・ ボランティア講座 ・ ファミリーレクリエーション大会
三重	・ 花のあるまちづくり事業 ・ 巡回補導 ・ 老人と子どもの交流会 ・ ウォーキング大会	・ 環境研修 ・ 運動会 ・ ポスターコンクール ・ ふれあい夏祭り	・ 球技大会 ・ バレーボール ・ ソフトボール大会 ・ 梅の木の植樹	・ 人権学習会 ・ 環境美化活動 ・ グラウンドゴルフ大会
県	・ さくらまつり ・ 写生大会 ・ 綱引き大会 ・ 人権フェスタ ・ まちづくり視察研修	・ 岡山秋まつり ・ 防犯パトロール ・ 健康ウォーク ・ 納税啓発事業 ・ 福祉年賀状	・ 防犯講演会 ・ バドミントン大会 ・ スポーツフェスタ ・ 友の会食事会	・ けんけんパーク整備事業 ・ グラウンドゴルフ大会 ・ 農業活性化事業 ・ 人権講演会

常磐	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全作品展 一人暮らし高齢者弁当 子育て支援活動 ホームページ制作・運用 ニューススポーツ大会 中学生職業体験ガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> バトカー・警官とのふれあい 一人暮らし高齢者福祉年賀状 環境美化推進事業 調理実習 グランドゴルフ大会 防犯パトロール 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全啓発事業 高齢者交流事業 地区内清掃活動 視察・研修 ウォーキング大会 	<ul style="list-style-type: none"> 青春バス旅行 高齢者の集い(映画会) 常磐まつり 懇談会(男女共同参画) ドッジボール大会
四郷	<ul style="list-style-type: none"> 花いっぱい運動 あいさつ運動 文化祭 ドッジボール大会 	<ul style="list-style-type: none"> 町の美化運動 ホームページ作成 ふれあい春まつり 防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキング大会 交通安全事業 ふれあい夏まつり ウィンターフェスティバル 	<ul style="list-style-type: none"> グラウンドゴルフ大会 1人暮らし給食支援 講演会(健康) スボレクひろば
小山田	<ul style="list-style-type: none"> 潤いのある街づくり(花作り) 視察研修(青少年健全育成) 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会 文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> 補導パトロール 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの運営
水沢	<ul style="list-style-type: none"> 花いっぱい運動 給食サービス もみじ祭りを描く会 	<ul style="list-style-type: none"> もみじ祭り 青少年問題講演会 	<ul style="list-style-type: none"> 平和を願う住民の集い もみじ祭りウォーク大会 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉ボランティア体験 運動会
日永	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいまつり 健康づくりハイキング 視察研修(青少年健全育成) ホームページ作成 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい文化祭 ウォークラリー大会 視察研修(まちづくり) 子ども見守り活動 	<ul style="list-style-type: none"> 健康まつり ひとり暮らし高齢者のつどい 人権・同和懇談会 	<ul style="list-style-type: none"> グラウンドゴルフ大会 あいさつ運動 青少年人権啓発推進
内部	<ul style="list-style-type: none"> ソフトボール大会 文化祭 三校二園清掃 凧揚げ大会 あったか訪問 	<ul style="list-style-type: none"> グラウンドゴルフ大会 うつべっこコンサート 内部川清掃 子育て支援・こままわしまつり 	<ul style="list-style-type: none"> カラーリング大会 史跡を訪ねるバスツアー エコかわせみ 五平餅づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり教室 ゴキブリ団子づくり デイキャンプ 内部川探検
塩浜	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> 世代間交流 	<ul style="list-style-type: none"> 敬老会 	<ul style="list-style-type: none"> ビオトープ池整備
河原田	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい農園運営・農園体験 夏祭り 手作り玩具作り かわらだエコまつり 	<ul style="list-style-type: none"> 町別体験人権学習 運動会 子ども料理教室 視察研修(まちづくり) 	<ul style="list-style-type: none"> 親子ふれあい遊び 文化祭 楽遊祭 	<ul style="list-style-type: none"> 親子リズム体操 たなばたまつり 竹林まつり
楠	<ul style="list-style-type: none"> 行事カレンダーの発行 高齢者弁当配給事業 レクリエーションバレー大会 おもちゃ図書館 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ管理運営 福祉展 運動会 ユニバーサルデザイン普及事業 	<ul style="list-style-type: none"> ひなまつり交流会 科学の祭典 文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> 防災体験学習 球技大会 障害者支援事業
大谷台	<ul style="list-style-type: none"> 防災啓発活動 清掃奉仕 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会 ホームページ運営 	<ul style="list-style-type: none"> 花いっぱい運動 パトロール 	<ul style="list-style-type: none"> ウォークラリー

文化振興

社会経済が成熟化し、生活していくための物質的な環境は整ってきた今、人びとが心にゆとりを持ち、また潤いのある生活をおくるために、魅力的な文化環境を整備する必要がある。

その中で、文化行政に対する市民要望に応えるため、市民自らの創作活動の場の提供や芸術文化鑑賞機会の充実を図るとともに、市民の文化活動への支援等を行い、芸術・文化活動を振興し、地域文化の創造に努めている。

文化の振興（平成22年度実施状況）

- ・文化行政推進事業.....本市の文化行政を推進することを目的に、文化振興に関する基本計画（文化振興ビジョン）に基づく四日市市文化振興実施計画を具体的に進める。

策定後5年が経過した文化振興ビジョンについて見直しを行うため、平成21年度から継続して「四日市市文化振興審議会」で審議を行った。

四日市市文化振興審議会 1回開催

- ・文化の駅推進事業.....市民が、音楽、ダンス、写真、絵画といった文化活動の発表や体験、また、それらを通じた交流をすることができる拠点をまちのさまざまな場所に「文化の駅」として創出することで、元気で魅力的なまちづくりに資することを目的とする。

文化の駅メインステーション『文化の諏訪駅』（平成21年12月18日オープン）

民間の団体が中心市街地に空き店舗を確保し、美術展示や音楽公演といった市民の文化活動の場を提供したり、自主企画した文化事業を実施したりする場の管理・運営事業に対して補助を行った。

文化の駅サテライトステーション事業

既存店舗の一部を文化活動の場の提供や文化事業を行う場「文化の駅サテライトステーション」と位置付け、文化事業による中心市街地の活性化を図るため、自主企画した文化事業に対して補助を行った。

文化の駅サテライトステーション事業補助金交付団体 2件

- ・四日市市文化振興基金.....昭和60年4月1日付で創設、平成23年3月31日現在の積立額 214,660,329円

基金を活用し、市民主体の文化活動に対し助成を行う。

市民による文化活動への助成 全市的事業 3件

地区事業 11件

民間の優れた文化施設を活用した事業 2件

- ・平成22年度四日市市文化功労者表彰..... 音楽部門 片岡 洵子 さん
民謡・民舞部門 佐藤 敏夫 さん
文化財保護 前田三千男 さん

- ・平成22年度四日市市民文化奨励賞受賞... 郷土史研究 前田 憲司 さん
音楽部門 四日市ジュニア・アンサンブル

- ・歌と音楽による四日市の元気創造事業.....上質なクラシック音楽に触れたり、首都圏で活動する四日市出身の若いミュージシャンが夢を追う姿に触れたりすることで、豊かな感性を育み、将来に大きな夢を描くことを目的に、それぞれ小学校の訪問演奏とホールコンサートを開催した。

気鋭のマリンバ奏者が2小学校を訪問して身近な場所で演奏するとともに、芸術鑑賞機会を提供するためのホールコンサートを開催した。

訪問演奏：平成22年12月13日(月)中部西小学校、14日(火)常磐小学校
コンサート：平成23年3月21日(祝)あさけプラザホール



四日市出身の若いミュージシャンが小学校を訪問して音楽の楽しさを伝えるとともに、市民に元気を贈るホールコンサートを開催した。

訪問演奏：平成23年2月10日(木)中央小学校

コンサート：平成23年2月11日(祝)文化会館第2ホール

- ・丹羽文雄記念室事業……文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民でもある郷土の偉人丹羽文雄氏を顕彰する施設として、博物館内に丹羽文雄記念室を設置している。
(平成18年12月9日設置)
ボランティア語り部事業 市民ボランティア語り部による記念室やゆかりの地を案内する事業を実施し、毎月20日を「語り部の日」として、記念室内で活動した。
普及啓発事業
- ・博物館学芸員による資料紹介とミニレクチャー「交友関係に見る丹羽文雄」
(平成22年9月20日)
- ・丹羽原作の映画「東京の女性」の上映会(平成23年3月13日)を茶室・泗翠庵の事業と連携して開催した。
- ・第38回四日市市美術展覧会……日本画部門42点・洋画部門84点・彫刻部門29点・工芸部門62点
写真部門168点・書道部門141点、写真部門高校生表彰枠52点
総出品点数578点 入賞作品数78点 来場者数4,597人
- ・第60回四日市市民文化祭……総合フェスティバル、各種ホール催事・展示発表等年間を通じて開催し、43,600人を超える参加者があった。

生涯学習

住民自らが各種の活動に参加しながら連帯意識を醸成し、進んで地域社会づくりに参画する気風を育むための生涯学習をめざして、23 地区市民センターを中心に住民活動を推進している。また、市民の学習意欲に応じて市民大学一般クラス・熟年クラスを開設するとともに、職員が出向いて市政情報を提供する「いきいき出前講座」を開設し、市民が気軽に利用できる学習機会を提供している。さらに学習情報を検索できるホームページの開設や学習情報誌の発行も行っている。

平成22年度主要事業

(1) 生涯学習の推進

・生涯学習いきいき出前講座

行政全般にわたる講座メニューの中から、市民の皆さんが聞いてみたい講座をリクエストし、指定された日時・場所に担当課の職員が出向いて情報を提供する制度で、昨年度、357 件の利用があった。

・市民大学

〔一般クラス〕

市民の幅広い学習要求に応えるとともに、地域の学習活動の振興を図るため、6コースを開催した。公募による市民団体が企画運営するコースを4コース、大学機関に委託するコースを2コース開講した。(受講者 437人)

Aコース	市民団体企画運営「その道の達人たちが創り出すもの」 ～ 伝統文化・芸術の奥深さを体感する～
Bコース	市民団体企画運営「多文化共生の扉をひらく」 ～ 日韓併合100周年を記念して～
Cコース	市民団体企画運営「家族にできるキャリアサポート(=進路支援)」 ～ 人生を選ぶ時代から創る時代へ その変化の理解と家族の対応～
Dコース	市民団体企画運営「日々新しく」 ～ チャレンジが若さのひけつ～
Eコース	四日市大学企画運営「今の四日市を五感で楽しもう」 ～ 未来の四日市を創るために～
Fコース	三重大学四日市フロント企画運営「21世紀ゼミナール」 ～ 新しい地域経営モデルの展開へ向けて～

〔熟年クラス〕

熟年期にふさわしい学習の場を提供し、社会参加への意欲を高めるため、「教養課程」と「専攻課程」を開設し、受講者は講座の受講のほか社会見学・音楽鑑賞会・文化祭等の行事への参加、クラブ活動での作品づくり等に励んだ。(受講者「教養課程」70人、「専攻課程」73人)

文化会館

市民の文化、福祉等生活の充実、向上のため、市制施行80周年記念事業として、昭和57年8月1日に開館し、市民の文化活動の場としての貸館を行うとともに、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供してきた。

会館の運営については、市民文化の普及・振興の拠点としての活用を図るため、(財)四日市市文化振興財団(平成20年度から市の他の法人と統合し、(財)四日市市まちづくり振興事業団となる。)を設立してその管理運営を委託してきたが、平成18年4月から指定管理者制度を導入し、(財)四日市市まちづくり振興事業団が指定管理者となって管理運営を行っている。



市民による文化活動の支援事業を充実するなど、市民とともにつくる市民のための文化会館として、施設管理と自主事業について取り組みを進めている。

施設概要

- ・所在地 安島二丁目5-3
- ・総事業費 48億円
- ・敷地面積 20,681m²
- ・延床面積 13,872m² (第1ホール棟 6,332m²、第2ホール棟 2,767m²、会議管理棟 2,298m²、美術展示棟 2,128m²、エントランスホール347m²)
- ・建築面積 8,133m²
- ・高さ 27.6m(最高第1ホール上部)
- ・第1ホール 収容人数 1,786人、舞台：間口18m、高さ9m、奥行き18m
- ・第2ホール 収容人数 609人、舞台：間口15m、高さ7.5m、奥行き14m
- ・第3ホール(会議用) 収容人数300人
- ・第4ホール(会議・展示用) 収容人数350人
- ・展示室 第1展示室、第3展示室、第4展示室、常設展示室
- ・会議室 第1会議室、第2会議室、第3会議室、和室会議室
- ・リハーサル室 第1リハーサル室、第2リハーサル室
- ・練習室 第1練習室、第2練習室、第3練習室

- ・その他 レストラン(110席)、駐車場(約400台)、会館事務室、応接室、防災センター

文化会館利用状況(22年度)

- ・ 日数利用率(各施設の使用日数を開館日数で割った平均利用率)・・・87.3%
- ・ 区分利用率(1日を午前・午後・夜間の3区分に分けた区分使用数を開館区分数で割った率)・・・67.6%
- ・ 来館者数・・・412,808人

泗 翠 庵

茶道は、日本の伝統文化を代表する総合芸術として広く親しまれている。

当施設は、平成6年7月6日に開館し、本市の公共茶室として茶会はもとより、日本間を利用した各種催しに使用されている。また、伝統文化の発展・向上に加え、生活に潤いと心の豊かさを求める時代のニーズに応える施設として、広く市民に利用されるとともに、国際交流に資する施設としても活用されている。平成18年4月からは、文化会館と併せての指定管理制度を導入し、施設の貸館の他にも茶道に関する諸講座を行うなど事業の充実を図っている。

施設概要

所在地	鶉の森一丁目13-17
総事業費	約2億円(備品購入費などを含む)
敷地面積	1,407.0m ²
延床面積	267.8m ²



立礼席

営業時間	午前10時～午後4時
休業日	毎週月曜日(ただし、祝祭日のときはその翌日) 12月28日～1月4日
料金	一服 400円(お菓子付・税込)

来庵者の状況

	開 庵 日	茶 室	立 礼 席	見 学 者	合 計
20 年度	300 日	3,620 人	7,689 人	1,835 人	13,144
21 年度	306 日	4,813 人	7,737 人	1,676 人	14,226
22 年度	308 日	3,838 人	7,085 人	1,466 人	12,389

都市提携

米国・ロングビーチ市(姉妹都市)

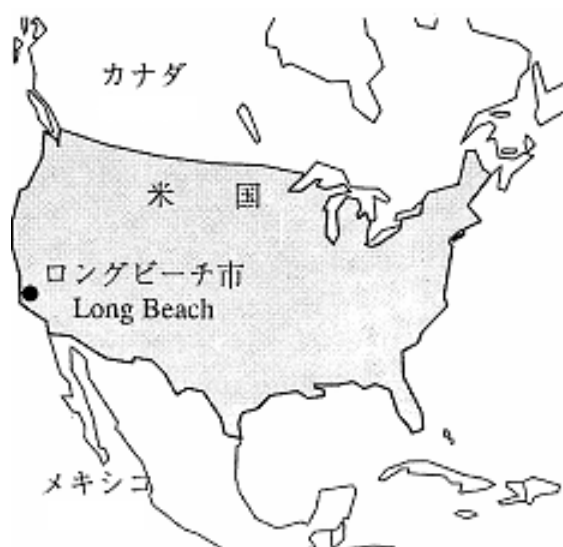
1963(昭和38)年10月7日、米国カリフォルニア州ロングビーチ市との間に姉妹都市提携を結ぶ。同市は、ロサンゼルス市の南約35kmに位置し、自然の立地条件に恵まれ、良港をもち、古くは、漁業中心に発達したが、大油田の発見とともに一躍石油精製などの工業都市へと発展した。

その後、航空機製造などをはじめとする重工業産業が市の代表的な産業となり、今日では、全米を代表する港湾物流をはじめ商業や観光など多種多様な産業がある。およそ10kmにもわたる美しい砂浜と、クイーンメリー号、インディカー・シリーズ、そして太平洋水族館でも有名な太平洋に面した、美しく、発展性に富んだ国際港湾都市である。



人口	約46万人
面積	129.5 km ²
平均気温	夏 21.1 冬 12.8
時差	-17時間(夏期は-16時間)

同市とは、市民を中心として国際交流活動を推進する四日市国際交流センター(財団法人四日市市まちづくり振興事業団)との連携による交換学生・教師の相互派遣をはじめ、英語指導員の教育現場派遣、市民各界各層の相互往来等を通して交流を深めており、さらには四日市看護医療大学とカリフォルニア州立大学ロングビーチ校との交流にまで発展している。



平成22年度の交流事業

- (1) 第24回ロングビーチ市交換学生・教師派遣
(7.23~8.11)
- (2) 中学生環境サミットへの学生・教師受け入れ
(8.1~9)
- (3) 英語指導員7人招致

中国・天津市(友好都市)

1980(昭和 55)年 10 月 28 日天津市との間に友好都市提携を結ぶ。

同市は北京、上海、重慶とならぶ中央直轄市(省と同格)で、北京の南東約 120 km、華北平原の東北部に位置している。古くは、名も無い一漁村であったが、13 世紀末に元朝が北京に都を定めてから、南北物資の集散地として発展してきた。

また、天津とは、天京(北京)への渡し場という意味で、北京の海の玄関口としても栄えてきた。

現在では、国際貿易港・天津新港や鉄道幹線の接点にあるなど、水陸運送の重要拠点にあり、また経済技術開発区への外国企業の進出が目覚ましく、食品・繊維・製紙などの軽工業に加え、鉄鋼・造船・自動車などの重工業、大港油田に関連した石油化学工業などを中心に中国北方最大の国際港湾工業都市として大きく発展している。



人 口	約 1,228 万人
面 積	11,760 km ²
平均気温	夏 26.4 冬 -4.0
時 差	-1 時間

同市との交流は、公式訪問団相互派遣、各種専門団の往来など、文化・教育・経済・貿易・環境保護・科学技術および都市建設などの分野において幅広く進められており、友好関係の推進を図っている。

また、平成 22 年度は友好都市提携 30 周年に当たり、下記のとおり記念事業を開催した。

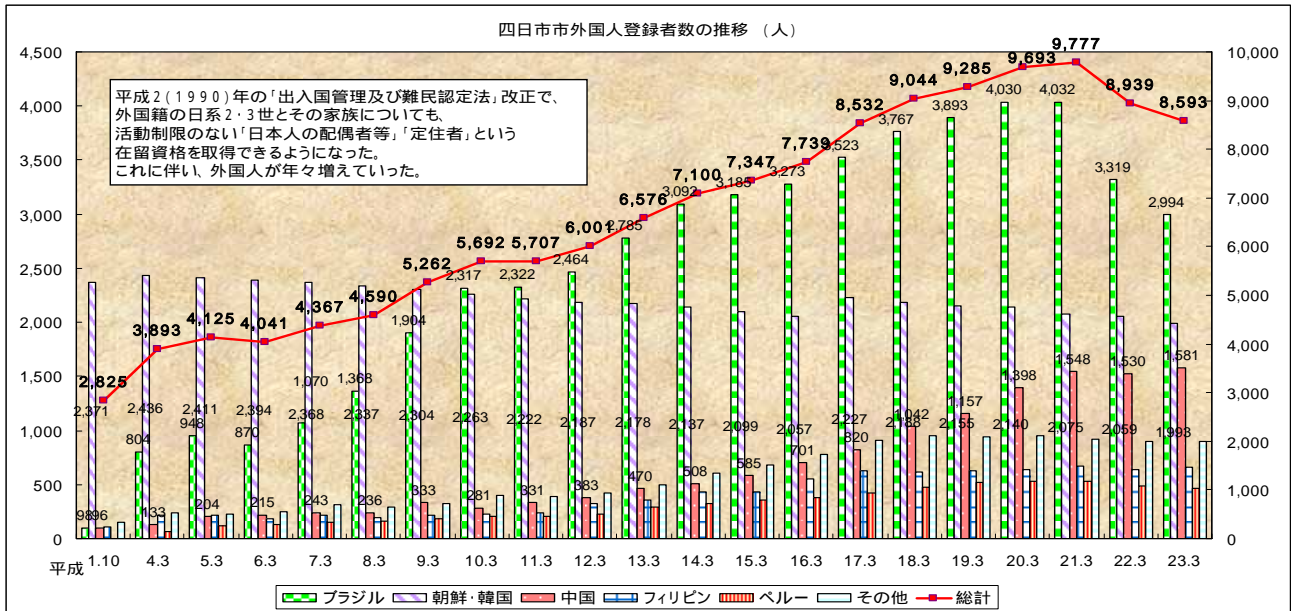
主な 30 周年記念事業

- (1) 天津市公式代表団受け入れ (6.24・25)
- (2) 四日市港セミナー (9.8)
- (3) 四日市市公式代表団派遣 (10.26~29)
- (4) 天津市環境保全セミナー開催 (10.27~30)
- (5) 友好都市提携 30 周年記念式典 (10.28)
- (6) 天津市環境研修員受け入れ (12.5~18)

多文化共生

平成 23 年 3 月 31 日現在、本市には 52 カ国 8,593 人の外国人市民が居住しており、市人口の約 2.7% を占めている。

なかでも笹川（笹川 1～9 丁目）には地域人口の約 18.6%に当たる 2,046 人の外国人が生活しており、「日本人も外国人も共に暮らしやすいまちづくり」に向けた取り組みを進めている。



母語対応（ポルトガル語・スペイン語）

- ポルトガル語・スペイン語対応職員の配置（本庁・四郷地区市民センターのほか、市立の保育園・幼稚園・小学校・中学校）
- 日常生活に関連の深い文書や通知（生活ガイドブック、ゴミ分別表、申請書類）などを順次翻訳外国人市民への情報伝達、啓発（ポルトガル語・スペイン語など）
- 「外国人市民向け生活オリエンテーション」を開設し、転入時に各種制度や生活ルールを説明
- 市広報のポルトガル語版発行、FMよっかいちでの市政情報番組、四郷地区市民センター発行の広報「お知らせ Y o g o u」のポルトガル語版・スペイン語版など

日本語習得の支援

- ボランティア日本語教室（8 団体）の開催・支援、日本語ボランティア養成講座の開催・協力
- 四日市市国際共生サロンの開設
- 地域と連携した多文化共生の拠点施設として、ポルトガル語、スペイン語対応が可能な職員を配置し、日本語教室、言葉や文化習慣を理解するための講座、生活相談等を実施
- 多文化共生モデル地区担当コーディネーターの配置
- 外国人市民が集住する笹川地区において、日本人市民と外国人市民の橋渡し役を担う多文化共生モデル地区担当コーディネーター 2 名を四郷地区市民センターに配置（平成 23 年 1 月）
- 推進体制
 - 四日市市多文化共生推進本部（庁内組織 本部長：市長 平成 22 年 4 月発足）、笹川地区共生推進会議（地域の自治会、交番、団地管理事務所などで構成）など
 - 外国人集住都市会議（日系南米人を中心とする外国人住民が多数居住する 28 市町で構成。国・県・経済界等への政策提言・要望や施策情報などの交換を行う）

男女共同参画

四日市市男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画社会の実現に向けてさまざまな取り組みを実施している。

男女共同参画プランよっかいち実施計画の策定に向けて、四日市市男女共同参画審議会において審議を重ねていただき、実施計画を策定した。

男女共同参画センターでは、男女共同参画社会を目指す市民活動の拠点として、女性問題の解決や女性のエンパワーメントの促進に加え、男性や再就職を希望する女性についても参加しやすい事業を開催した。市民や市民グループとの協働を積極的に取り組み、性別にとらわれることなく一人ひとりが自分らしく生きる社会をめざすための施策の推進と事業を行っている。

平成22年度事業

仕事の柱	事業名	事業内容
男女共同参画施策に関する事業	四日市市男女共同参画審議会	男女共同参画プランよっかいち実施計画の策定に向け、 審議が進められた。
	男女共同参画人材リスト事業	政策決定等の場での男女比の是正をはかるため、審議会等の女性委員の登用率を上げることを目的として作成した女性人材リストを人事課と情報を共有し、庁内での活用促進に努めた。(平成23年3月末現在登録者112名) また、登録者を対象に男女共同参画社会の実現に向けてのこれまでの取り組みと、女性の参画を進める意味について考える研修会を開催した。(1回)
学習機会の提供および人材養成に関する事業	さんかくカレッジ	女性のエンパワーメントおよび男女共同参画社会を推進するための啓発講座等を行った。 ・「家族みんなで家事上手」6回 ・「働く女性のための未来計画」3回 ・「本場イタリアンのスイーツ作り」2回 ・「男性向け料理教室」2回 ・「男だって甘いもの」2回 ・「明るいオータムライフ」4回 ・男女共同参画基礎講座「さんかくカフェ」5回
	グループ活動支援事業	男女共同参画の推進に寄与することや、全国各地の市民グループとの交流を図ることを目的とし、日本女性会議への参加費用を助成した。(1グループ)
	情報収集提供事業	男女共同参画センターの情報コーナーの書籍・雑誌などの充実を図った。また、ホームページや情報紙はもりあによる情報発信を定期的実施した。
	再就職を希望する女性への支援事業	三重県と共催で、再就職を考えている女性を対象に「輝く笑顔のワタシ発見」(4回)を開催した。
	三重県男女共同参画連携映画祭	男女共同参画週間にあわせ、県内男女共同参画センター4館と8市町が連携して映画会を開催。本市は「ココ・チャンネル」を四日市市総合会館で上映した。

	こどもさんかくカレッジ	子育て中の方々にはもりあ四日市の場所を知っていただくとともに、クイズを通じて男女共同参画についての興味と知識を得てもらうことを目的に小学生向けの講座を実施した。また、保護者の対象を男性に限定し、男性の子育てへの参加を応援するための講座を実施した。 ・ 「自由研究をやっつけちゃおう ちよこっとさんかく教室」(1回) ・ 「大好きパパとそば打ち体験」(2回) ・ 「パパと一緒にパンを焼いて みませんか?」(1回)		
	男女共同参画推進講座	「女性の貧困」と題して、ひとり親家庭や女性労働の実態を踏まえて、これから私たちができることを考える講座を実施した。(4回)		
	はもりあ四日市 映画の夕べ	仕事や家事で、昼間はもりあ四日市を利用することができない方を対象に、男女共同参画に関する映画を夜間に上映した。(3回)		
男女共同参画を推進する市民グループのネットワーク事業	市民協働事業 「はもりあ週間」	市民協働の観点から事業の企画・運営を市民グループ等で構成する企画運営委員会をで行い、「妻が僕を変えた日」と題して、男性の家事・育児参画についての基調講演、市民活動グループによるワークショップ、活動展示、起業を応援するチャレンジショップ等を開催した。		
	登録グループのつどい	登録グループの活動紹介、はもりあ四日市の事業についての意見交換を実施した。(2回)		
相談事業	法律相談	女性相談員による相談の中で、特に専門性の必要なケースについて弁護士による法律相談を開催した。(12回44件)		
	DV防止講座	子どもたちをデートDVの被害者にも加害者にもさせないために、大人はどう接したらよいかを学ぶ講座を開催した。		
	相談室における相談件数			
・ 内容別				
DV	夫婦	親子・家庭	暮らし	こころ
1, 121	379	175	101	30
人間関係	保護・更正	生き方	性・性的被害	別れた夫
35	6	27	4	47
仕事	体	その他		
7	9	16	合計 1,957	

戸籍・住民記録

1. 戸籍届出件数の推移

(単位：件)

年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
出生	3,933	3,961	3,776	3,744	3,553	3,843	3,664	3,684	3,677	3,654
死亡	2,471	2,455	2,573	2,662	2,965	2,740	2,891	2,900	2,967	3,198
婚姻	3,580	3,429	3,383	3,197	3,296	3,382	3,440	3,485	3,435	3,279
離婚	992	957	922	868	946	862	870	853	807	876

2. 人口・世帯数の推移

*各年度3月31日現在

年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
世帯数	109,424	111,045	112,279	118,183	120,273	122,284	124,587	126,231	127,082	128,253
人口	295,419	296,563	296,959	309,648	310,710	311,904	313,495	313,963	313,890	314,162
内訳	男	145,618	146,156	146,237	152,737	153,433	154,378	155,604	155,998	156,294
	女	149,801	150,407	150,722	156,911	157,277	157,526	157,891	157,892	157,913

3. 外国人登録人口の推移

*各年度3月31日現在

年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
ブラジル	3,092	3,185	3,273	3,523	3,767	3,909	4,030	4,032	3,319	2,994
韓国・朝鮮	2,137	2,099	2,057	2,227	2,188	2,157	2,140	2,075	2,059	1,993
中国	508	585	701	820	1,042	1,191	1,398	1,548	1,530	1,581
フィリピン	434	436	555	630	612	632	640	671	640	665
ペルー	320	357	379	427	479	519	535	532	491	465
タイ	155	163	178	197	202	226	228	206	199	191
ボリビア	71	82	88	154	167	180	182	187	169	145
ベトナム	94	110	152	152	140	112	109	103	99	113
米国	47	48	56	64	62	64	58	70	64	60
スリランカ	23	25	29	45	60	48	40	37	32	42
その他	219	257	271	293	325	325	333	316	337	344
合計	7,100	7,347	7,739	8,532	9,044	9,363	9,693	9,777	8,939	8,593

その他の数字については下記サイトにある「市民課年報」を参照のこと

(<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/home/nenpo.html>)

住居表示整備事業

昭和 37 年に施行された「住居表示に関する法律」に伴い「住居表示整備実験都市」に指定された本市は、昭和 37 年度、まず旧市内の住居表示整備事業に着手し、順次市街地の住居表示整備に努め、平成 6 年度まで 27.876km²にわたり住居表示を実施した。

過去において四日市市は、住民基本台帳上の公称町名、不動産登記簿上の公称町名、自治会を単位とした通称町名が混同され、加えて境界が判然とせず、町界の入り組みも重なって全国でもまれにみる複雑な町界町名を有していた。しかし、住居表示整備事業の進捗とともにこの混乱は解消され、市民の日常生活はもちろん、行政事務にも多大の利便がもたらされている。

なお、平成 22 年度の建物の新・改築等による住居番号の付定件数は 488 件であった。

実施状況

全面積比.....13.56%

住居表示方法.....街区方式

全人口比.....33.52%

フロンテージの間隔.....15m

全世帯数比.....41.83%

(比率は平成 23 年 3 月 31 日現在)

実施年度	実施区域	面積	世帯数	実施状況		
				街区数	旧町	新町
37	旧市内、羽津、海蔵、橋北、浜田南部	5.892	13,961	784	112	58
39						
40	富田、富洲原	3.319	7,228	418	84	20
41	羽津、海蔵、日永	3.393	4,276	295	32	23
42	羽津、内部	1.942	1,326	145	13	10
43	港、浜田、東橋北、羽津	1.984	2,125	220	18	19
44	港、浜田、共同、常磐	2.015	2,598	168	12	16
45	常磐、海蔵	2.405	1,680	156	14	17
46	日永、内部、河原田	3.125	821	85	14	10
47	日永、四郷	1.292	741	129	9	7
48	大矢知	1.660	1,117	132	6	13
52	常磐、神前	0.429	552	65	3	5
53	浜田、常磐、神前	0.413	881	76	6	5
平成 6	常磐(大字松本の一部)	0.007	28	1	-	-
合計		27.876	37,334	2,674	323	203

世帯数・街区数は、実施日現在

四日市地域総合会館あさけプラザ

あさけプラザは、四日市市および三重郡の住民が文化・教養・福祉・スポーツ・創作・学習・保健など様々な活動を通じて、連帯と潤いのある生活を創造する広域複合施設である。

また、子どもから高齢者まで幅広い層が利用できる各種の施設機能を持ち“ふれあいと語らいの場”として活用される施設である。

当施設は、昭和56年度に国の提唱する「大規模中核施設」(のちに、「田園都市中核施設」と改称)の整備計画を柱とする広域市町村圏のタウンセンターともいふべき「リージョンプラザ」(=圏域広場)構想に採択され、57年度に建設に着手し59年7月に完成、同年8月18日にオープンした。

その後、年月の経過とともに、施設・設備の老朽化が目立ち始め、特に老朽化が著しいホールの舞台機構や各施設の空調設備等について、利用者に安全安心、快適に使っていただくため、平成19年度から、計画的に大規模改修工事を実施している。

また、図書館においては、利用者へのサービスの向上を図るため、日本図書館協会への加入や三重県図書館情報ネットワークへの参加をはじめ、平成17年度から、あさけプラザ図書館、市立図書館、楠公民館図書室を図書館情報ネットワークシステムで結び、3館のどの館でも借りられ、どの館でも返却できるようになり、また、インターネットでの予約も開始した。インターネット予約については、年々、利用件数が増加している。

また、当館自主事業についても、時代のニーズに適合した講座を適宜、開催するなど、住民の学習意欲に応えるよう努めている。

施設概要

- ・所在地 四日市市下之宮町 296-1
- ・総事業費 約 25 億円(用地費を含む)
- ・竣工 昭和 59 年 7 月 31 日
- ・敷地面積 18,703.69 m²
- ・建築面積 4,679.44 m²
- ・延床面積 6,433.33 m²
- ・構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨コンクリート造、地上 2 階一部 5 階建

施設

- ・老人福祉施設.....集会室(2室)、浴室
- ・保健衛生施設.....問診室、検診室、身体測定室、機能回復訓練室
- ・図書館、学習室
- ・ホール(326席)
- ・小ホール
- ・展示会議室(5室)
- ・体育館
- ・創作、学習施設.....料理室、美術室、音楽室、陶芸室、茶室
- ・その他.....事務所、あさけコーナー、ロビー、屋外ステージ(中庭)、娯楽談話室、奉仕作業室
- ・屋外施設.....軽運動広場、ゲートボール場、駐車場

施設利用状況（平成22年度）

1. 有料施設

区 分	開館日数	開館コマ数	利用コマ数	利用率(%)	利用者数(人)	
ホー ル	302	906	341	38	31,411	
体 育 館	302	906	816	90	35,264	
小ホール	302	906	670	74	12,285	
展 示 会 議 室	1	302	906	71	17,272	
	2	302	906	61		
	3	302	906	66		
	4	302	906	63	15,867	
	5	302	906	57		
料 理 室	302	906	327	36	7,150	
美 術 室	302	906	653	72	7,367	
音 楽 室	302	906	706	78	14,908	
陶 芸 室	302	906	314	35	1,745	
茶 室	302	906	368	41	2,794	
学 習 室	302	302	93	31	1,758	
集 会 室	1	302	302	48	16	655
	2	302	302	19	6	594
合 計	-	12,684	7233	57	149,070	

2. 図書館

開館日数	利用者数	学習室等利用者	合 計
295 日	117,384 人	6,152 人	123,536 人

3. 老人福祉施設

集会室・浴室			ゲートボール場等		合 計
開館日数	利用者数	1 日平均	利用件数	利用者場数	
287 日	33,897 人	118 人	2 件	91 人	33,988 人

4. 保健衛生施設

区 分	開催回数	利用者数(人)
機能回復訓練事業	302	29,334
成人健康相談事業	94	4,703
介護予防事業(健康相談)	0	0
生活習慣病講座	0	0
その他の	17	2017
合計	413	36,054

運動広場

開催回数	利用者数
35	3353人

高齢者講座

開催回数	利用者数
12	268人

屋外ステージ(中庭)・娯楽談話室

開催回数	利用者数
12	1073人

+ + + + + = 347,342人

全館の状況

貸館の単位は、午前、午後、夜間の3コマに分けて行っているため、

利用率 = 利用コマ数 ÷ 開館コマ数で算出。(小数点以下四捨五入)

学習室と集会室1、2は夜間のみ有料貸し(午前と午後は無料開放施設であり、専用貸しはしていない。)を行っている。

平成22年度 あさけプラザ使用料収入額

17,115,283円

楠総合支所

楠総合支所（旧楠町役場）は、平成17年2月7日の四日市市と楠町との合併時の協議に基づき、楠地域の住民に対して、合併後の不安を解消するため、また、これまでのサービスの低下を極力最小限にとどめることを目的に設置された。

合併当初は、住民の相談事業とともに、窓口業務などのサービスを引き続き行うほか、楠地区のまちづくり活動の支援や地域振興などの業務を行うため4課体制（振興課、市民福祉課、地域課、楠プラザ）であったが、合併に伴う両市町の制度統一のために設けた5年間の経過措置期間が、平成21年度末に終了したため、組織機構が見直され、窓口グループ及びまちづくりグループから構成される市民文化部所管の1課体制となった。

楠総合支所の概要

- ・所在地 四日市市楠町北五味塚2060番地72
- ・設置年月日 平成17年2月7日（合併前は楠町役場）
- ・建築年月日 昭和57年10月15日
- ・構造 鉄筋コンクリート造4階建
- ・敷地面積 3,734.04m²
- ・床面積 2,960.71m²（厚生棟など附属2棟含む）
- ・施設内容 1F：窓口グループ、まちづくりグループ
2F：会議室、団体事務局など
3F：楠交流施設（貸館施設）など

〔楠公民館〕

- ・所在地 四日市市楠町北五味塚1211番地1
- ・建築年月日 昭和60年4月15日
- ・構造 鉄筋コンクリート造3階建
- ・敷地面積 2,797.83m²
- ・床面積 1,715.19m²
- ・施設内容 1F：事務室、図書室、調理室など
2F：大集会室、研修室、和室、創作作業室、小会議室など

楠総合支所の業務

窓口グループ

窓口グループは、住民基本台帳・戸籍関係の手続きと証明の交付などの窓口業務を行うとともに、合併後の住民生活にかかる市政等の情報提供とまちづくりの推進を図るために「楠総合支所だより」を毎月2回（1月は1回）発行するとともに、窓口及びHPにおいて市民からの意見や提言を広く聴き、楠総合支所の事業運営の参考とした。

まちづくりグループ

・地域審議会

地域審議会は、市町村の合併の特例に関する法律に基づき、合併に対する懸念や不安を払拭するため、合併前の旧楠町の区域にのみ設置され、その主な役割は合併前に策定し合併の是非の判断材料とした新市建設計画の進捗状況等を検証し、必要に応じて市長に対して意見を述べるができるというもので、平成22年度においては2回開催した。地域審議会の委員は、公共的団体等を代表する委員、事業者を代表する委員、公募による委員、学識経験を有する委員の10名から構成されている。

・地域活性化事業

楠地区の特色を活かした住民による自主・自立のまちづくりを進めるため、地区住民が取り組み策定した『楠地区まちづくり構想』の実現に向けた実施計画の作成や「楠健康ふれあいフェスタ」への支援を行うなど、地域の活性化を促した。

・親水空間整備事業

新市建設計画に掲げられた事業として、楠地区の貴重な自然環境を保全し、鈴鹿川の伏流水などを利用したせせらぎのあるまちづくりを推進する。

水源を確保し、地区内の水路に通水を行うことで、水路内に生息するホタルや淡水魚などの生育環境を保全するための既存水路へのゲートの設置等改修を行っている。

・公共施設の管理

合併後の地域社会づくりと市民間の交流の促進を図るとともに、避難施設としての効果を発揮するため、公の施設である楠福祉会館、楠ふれあいセンターをはじめとする楠地区内の公共施設の管理を行っている。

施設名称	所在地	構造	床面積(m ²)	概要
楠福祉会館 〔指定避難所〕	楠町南五味塚 60	RC造2F 附属1 棟	1,781.50	ホール、会議室、調理室、教養娯楽室、トレーニングルームなど 開設時間：8:30～21:30 〔H18から指定管理者制度導入〕 1Fの一部は楠町商工会が区分所有
楠防災会館 〔指定避難所〕	楠町南五味塚 292-1	RC造3F	521.04	ホール、和室（1Fは消防分団車庫） 開設時間：8:30～21:00 〔H18から指定管理者制度導入〕
楠避難会館 〔指定避難所〕	楠町南五味塚 600-1	RC造2F	291.84	ホール、和室 開設時間：8:30～21:00
楠ふれあいセンター	楠町北五味塚 1252-1	S造1F	1,102.16	多目的室、ふれあい室、創作室、足湯、リラックルームなど 開設時間：8:30～21:00 〔H18から指定管理者施設〕
楠保健福祉センター 〔指定避難所〕	楠町北五味塚 1250-1	RC造2F 附属1 棟	1,805.04	1F:四日市市社会福祉協議会 2F:健康づくり課楠分室
楠交流施設 (楠総合支所3F)	楠町北五味塚 2060-72	RC造4F	720.61	大会議室、会議室1・2、研修室

平成 22 年度 利用者数

(単位：人)

楠福祉会館	楠防災会館	楠避難会館	楠ふれあいセンター	楠保健福祉センター (楠分室検診・相談等)	楠交流施設 (楠総合支所 3F)
45,105	3,771	2,757	54,621	3,862	6,565

楠公民館

楠地区における地域社会教育の場として、平成 22 年度は、「楠地区まちづくり構想」の実現に向け、地域リーダー養成のための講座等の開催のほか、地域社会教育団体の自立化促進と団体間の連携を図るための支援を行った。

また、公民館図書室では、蔵書の充実を図るとともに、よみきかせ、おはなし会と合わせ、夏休み、冬休みには、としよっ子まつりなどを実施することで読書への関心をもたせるための取り組みを重点的に行った。

平成 22 年度

楠公民館利用状況

利用件数	利用者数
886 件	18,229 人

楠公民館図書室利用状況

蔵書総数	利用者数	貸出冊数
51,249 冊	26,017 人	123,630 冊

「よみきかせ」開催状況

よみきかせ(45回)	おはなし会(14回)
526 人	302 人

(財)四日市市まちづくり振興事業団

四日市市が100%出捐した財団法人四日市市文化振興財団、財団法人四日市国際交流協会、財団法人四日市市都市整備公社及び財団法人霞ヶ浦振興公社の4法人の解散を受けて、4法人の事業を発展的に継承し、「みんなが誇りを持てるまち、四日市」の実現に向けて四日市市のまちづくりの一翼を担い、財団運営の機動性や弾力性を活かした効率的かつ安定的なサービスを行うとともに、行政や市民等との連携・協働を図るという役割と使命を掲げて、平成20年4月1日に設立された財団法人である。

組 織

- ・名 称 財団法人 四日市市まちづくり振興事業団
- ・所 在 地 四日市市本町9番8号 本町プラザ内
- ・基本財産 2億円(全額を四日市市が出捐)
- ・体 制 別図のとおり(V-36ページ)

事業の概要

文化・芸術の振興に関する事業

1. 文化会館・茶室「泗翠庵」の管理運営

文化振興事業については、四日市市文化振興ビジョンを踏まえ、「市民とともに作る市民のための文化会館」「日本の伝統文化を楽しめる茶室」を目標に掲げ事業を実施する。施設管理運営業務については、安全で安心な施設環境を確保した上で、利用者ニーズに対応できる貸館方法の工夫を図りサービスの向上に努めている。

文化振興事業(平成22年度)

次代を担う人材の育成・支援

- ・ 学び舎音楽会 小学校15校、中学校2校で開催
- ・ 三四小学校音楽会支援事業
- ・ 四日市市民オペラ「アイーダ」公演
- ・ 第26回四日市文芸賞
- ・ 各種共催事業 劇団四季「こころの劇場」、ニューイヤーコンサート、
大人のためのビッグバンド講座

優れた芸術文化を鑑賞する機会の確保

- ・ 立川志の輔独演会
- ・ 劇団四季ミュージカル「55ステップス」
- ・ 高嶋ちさ子と12人のヴァイオリニストコンサート
- ・ 「第22回 四日市能」 など計13事業

四日市の個性を生かした事業

- ・ 財団ミニギャラリー 心象風景画展など
- ・ 萬古展示 「古萬古展」「現代萬古展」「四日市萬古展」の3回実施
- ・ 萬古陶芸作家作品でお茶を楽しむ
- ・ 落語の街・四日市特別企画「第7回文治まつり」

文化を創造する環境づくりのための事業

- ・ まちかどコンサート 近鉄四日市駅周辺で4回開催
- ・ 企画展示「おもちゃ展」

文化情報の発信

- ・ よんぶんセミナー 能楽、型萬古、百人一首など全8回
- ・ 文化展望 四日市「ラ・ソージュ」第28号
- ・ 「催物ごあんない」 毎月発行（組回覧）
- ・ ホームページの拡充

伝統文化の普及と啓発事業（茶室「泗翠庵」事業）

- ・ 茶道体験講座 表千家・裏千家・松尾流・遠州流の4流派で実施 2日コース各1回
- ・ 茶道特別講座 「社会生活の作法」、「茶花を生けよう」、「数寄屋建築について」、「迎春の床のしつらえ方」、「茶席のお香を楽しむ」
- ・ その他 春の無料呈茶

楠歴史民俗資料館事業

- ・ 語り部事業 楠歴史民俗資料館保存運営委員会に依頼 土日祝を中心に計127日実施
- ・ 収蔵品展示 旧庄屋岡田家の歴史、貴重な古文書等の展示 通年実施
- ・ 地域団体との協働事業 保存運営委員会と協働して、「写生大会」「子ども茶道教室」開催
- ・ 文化財講座・文化セミナー 「津綾子肩衣（つもじかたぎぬ）について」
「考古学入門セミナー」「氷の彫刻セミナー」「星空セミナー」
- ・ 夜間特別開館 ホタル鑑賞、声楽コンサート等のイベントと併せ、春と秋計2回延べ4日実施
- ・ 企画展示 「昔のくらし展」「おもちゃ展」サテライト展示
- ・ 特別展示 「南楠の鯨船行事」

四日市市美術展覧会の開催（受託事業）

経営力の強化

- ・ 文化事業支援システム カルチャーサポートシステム
- ・ 文化会館友の会（楽人クラブ）運営事業

国際交流・多文化共生の推進に関する事業

諸外国との相互理解と友好親善を深め、外国人にも住みやすい「世界に開かれたまち四日市」の実現を目指して、市民参加型の幅広い国際交流や国際理解の推進に関する事業を行う。また、多文化共生社会の実現を目指す四日市市の方針に沿って、その基盤づくりに貢献する事業を実施する。

賛助会員制度

地域の活動の輪を広げ、より広範囲に有益な国際交流事業を運営し、事業及び運営資金面への支援を得るため、事業の趣旨に賛同する個人、団体による賛助会員制度を設けている。

会費（年間） 個人一口 ¥3,000 団体一口 ¥10,000

ボランティア制度

市民の国際交流活動を活発にするとともに、国際意識と国際理解を醸成するため、市民の協力による通訳等下記のボランティア活動を行うことを目的として、ボランティア制度を設けている。

- | | |
|-------------------------|------------|
| (1) 日本語指導 | (2) 通訳・翻訳 |
| (3) ホームステイ、ホームビジットの受け入れ | (4) 日本文化紹介 |
| (5) イベント補助 | |

主な事業（平成22年度）

諸外国との相互理解と友好親善の促進

・国際交流イベント

コーヒブレイク（英語による国の紹介）、国際理解講座（インド・マダガスカル・上海）、日本文化探訪（ゆかたでGo!・新春かきぞめ大会・新春茶会）、なるほど天津展、テニスデイウインターパーティ、日本語学習発表会等

・外国語講座 英語、スペイン語、中国語等計 28 講座

・姉妹都市米国ロングビーチ市への交換学生・教師（トリオ）派遣...四日市市からの受託事業

多文化共生社会の基盤づくりの取り組み

・日本語サークル

・外国人のための行政相談

・生活・案内相談

・四日市市国際共生サロンの管理運営（指定管理施設）

市民参加の幅広い交流活動の推進

・ボランティア活動の推進 ...ボランティア活動に対する支援・協力及び研修会実施等

・他団体との協力・連携・助成...視察、体験学習の受入、NPO団体と相互協力

・広報活動と情報の提供 ...機関紙発行、海外雑誌、新聞等の閲覧提供、 ホームページのリニューアル

スポーツ及びレクリエーションの増進に関する事業

市民に身近で安価な親しみやすく、利用しやすいレジャー施設を提供するとともに、安全性の確保に努めている。

主な施設の概要

1. 伊坂ダムサイクルパーク

(1)概要

サイクリングコース

- ・竣工 昭和53年7月29日
- ・建設費 77,389千円 (財源内訳) 日本自転車振興会補助金 23,900千円
年金福祉事業団(当時)借入金 53,000千円
自己資金 489千円
- ・施設内容 サイクリングコース 全長9km 休憩所6棟 フェンス 標識等
自転車格納庫 伊坂ダム215.2㎡ 山村ダム79.5㎡
自転車保有台数 101台
一般車90台(子供用、かご付等含む) タンデム車11台

サイクル広場

- ・竣工 平成5年3月25日
- ・建設費 104,438千円(財源内訳) 日本自転車振興会補助金 37,510千円
年金福祉事業団(当時)借入金 39,200千円
自己資金 27,728千円
- ・施設内容 モトクロス自転車コース 全長200m
変わり種自転車コース 全長470m
管理棟兼自転車格納庫 197.5㎡
自転車保有台数 51台
マウンテンバイク20台 変わり種25台 一輪車6台

その他

ログハウス(サイクルパーク管理事務所)149.1㎡

- ・竣工 平成4年3月31日
- ・建設費 35,000千円
- ・施設内容 休憩室 自転車格納庫 トイレ 事務所 倉庫

チビッコカー乗り場及びレストコーナー

- ・竣工 平成6年3月25日
- ・建設費 16,830千円
- ・施設内容 チビッコカー乗り場528.2㎡ レストコーナー321.3㎡

(2)利用状況

(単位:人)

年度	サイクリングコース	サイクル広場	チビッコカー
平成20年度	15,027	19,572	8,570
平成21年度	15,194	19,441	8,162
平成22年度	13,793	17,301	7,391

2. 四日市スポーツランド

(1)概要

アスレチックコース

・竣工 昭和54年7月29日

・建設費 91,925千円 (財源内訳) 日本宝くじ協会補助金 33,000千円
年金福祉事業団(当時)借入金 57,300千円
市補助金 1,625千円

・施設内容 アスレチックコース 全長 1.3 km 遊具 36 基
管理棟 134.6 m² トイレ 駐車場約 200 台

高岡山周辺施設

・竣工 昭和59年3月3日

・建設費 226,850千円 (財源内訳) 雇用促進事業団(当時)建設分 150,000千円
年金福祉事業団(当時)借入金 44,800千円
自己資金 32,050千円

・施設内容 センターハウス 710 m²
スーパースライダー 全長 150m
大型トリム 高さ 6m
ローラースケート場 1周 100m
デーキャンプ場 713 m²
芝生広場 多目的広場 修景池 トイレ あずまや等

その他

FRP製恐竜遊具 3体(ディメトロドン トリケラトプス プラテオザウルス)

ジャンピングシーソー 4基 ちびっこプール 100 m²

チビッコカー広場 センターハウス内自然観察展示コーナー

サイクリングコース 自転車格納庫

自転車 49台 一般車 9台(婦人用、子供用) マウンテンバイク 40台

(2)利用状況

(単位:人)

年度	サイクリングコース	アスレチックコース	スーパースライダー	ローラースケート場
平成 20 年度	576	20,170	18,263	2,655
平成 21 年度	491	24,663	20,001	2,815
平成 22 年度	627	27,714	20,262	3,441

年度	デーキャンプ場	ちびっこプール	チビッコカー
平成 20 年度	5,303	833	6,368
平成 21 年度	7,144	1,115	7,040
平成 22 年度	6,237	1,204	6,455

都市施設の管理及び都市環境の維持保全に関する事業

指定管理者として指定された施設、また、その他四日市市からの受託事業についても、効率的な管理及び快適な市民サービスの提供に努めている。

事業団の施設である賃貸住宅・賃貸店舗の管理運営と各団地内等の月極駐車場の管理運営を行っている。

都市施設の管理事業

指定管理施設

- ・ 四日市市市民交流会館の管理運営
- ・ 四日市市総合会館集会施設の管理運営

受託管理施設

- ・ 四日市市視聴覚センター貸館業務
- ・ 視聴覚ライブラリー管理業務
- ・ 四日市市本町プラザ管理
- ・ 旧(株)三重ソフトウェアセンター社屋管理
- ・ オーストラリア記念館の管理運営

自主管理施設

- ・ 賃貸住宅管理運営(坂部団地 31 戸)
- ・ 賃貸店舗管理運営(三重団地 19 戸)

駐車場管理事業

- ・ 月極駐車場管理運営(坂部団地 38 台、三重団地 32 台、あさけ団地 19 台、桜台団地 57 台)
- ・ 近鉄湯の山線高架下月極駐車場管理(58 台)
- ・ 国道 23 号線高架下駐車場管理(311 台)

都市環境の維持保全

緑地管理事業

- ・ 伊坂、山村貯水池周辺緑地管理

四日市市及び市民等と連携・協働したまちづくりに関する事業

四日市市からの事務受託事業、自主事業の推進

- ・ 防犯外灯新設維持費補助金交付事業

まちづくり関係事業団体との連携支援

関連事業団体の運営支援や連携を図り、まちづくりの幅広い展開や事業の相乗効果を高めるため、四日市市土地開発公社及び財団法人三重北勢地域地場産業振興センターへの人的支援等について連携を図っている。

霞ヶ浦会館の活用に関する事業

霞ヶ浦会館の運営管理

霞ヶ浦緑地諸運動施設利用者の合宿及び競輪参加選手の宿泊に供するとともに、広く各種団体及び企業等の宿泊研修、会議の場として地域振興に努めている。

〔平成22年度の主な利用状況〕

競輪参加選手の宿泊（年間延宿泊者数 5,611人 / 前年度実績 6,258人）

各種団体の宿泊研修（年間延宿泊者数 3,497人 / 前年度実績 3,732人）

霞ヶ浦会館の活用による市民活動の交流推進

・市民のコミュニティ活動の推進

大ホール、レッスンホール、会議室等を利用して、市民の余暇活動及びコミュニティ活動の場として提供している。

・教育文化の向上

視聴覚施設を有する大ホールにおいて、各種講演会、研修会等での利用を促し、教育・文化の向上に資するため利用促進を図っている。

・健康の維持増進

会館宿泊者に対し、施設の付加価値としてマシンジム室を無料開放し、市民の健康維持、増進を図っている。

〔平成22年度の主な利用状況〕

大ホール、会議室、和室、レッスンホールの利用

（年間利用件数 144件 / 前年度実績 154件）

四日市競輪場施設の管理運営業務の受託に関する事業

四日市市が実施する競輪事業の安全管理業務を受託実施している。

財団法人四日市市まちづくり振興事業団 組織体系図(平成23年4月1日現在)

